

北海道大学シラバス

科目名

大学院共通授業科目（教育プログラム）：外科系臨床医学研究の新展開 CST実習（臨床解剖実習）

講義題目

責任教員（所属）

平野 聡（大学院医学研究院）

担当教員（所属）

篠原 信雄（大学院医学研究院）
 本間 明宏（大学院医学研究院）
 岩崎 倫政（大学院医学研究院）
 平野 聡（大学院医学研究院）
 北川 善政（大学院歯学研究院）

科目種別	大学院共通授業科目			他学部履修等の可否	条件付き可
開講年度	2022	期間	通年	時間割番号	101148
授業形態	実習	単位数	1	対象年次	～
対象学科・クラス				補足事項	
ナンバリングコード	IGS_NAS 5250				
大分類コード	大分類名称				
IGS_NAS	大学院共通授業科目（自然科学・応用科学系）				
レベルコード	レベル				
5	大学院（修士・専門職）専門科目（基礎的な内容の科目）、大学院共通授業科目				
中分類コード	中分類名称				
2	生命・生物系				
小分類コード	小分類名称				
5	医学				

言語

日本語で行う授業

実務経験のある教員等による授業科目

対象外

キーワード

臨床医学、臨床解剖、外科教育、献体を使用した手術手技研修（Cadaver Surgical Training : CST）、医療機器開発

授業の目標

「外科系臨床医学研究の新展開」は、臨床医学の献体使用における総合的な教育研究を運営できる専門人材の養成を目的とするわが国唯一の教育プログラムであり、5つの講義科目から構成される。

「CST実習（臨床解剖実習）」の目標は、CSTや医療機器開発に参加（見学）することで臨床医学の献体利用の意義を体験し、これを実施するに必要な知識を習得することである。

■ 到達目標

「CST実習（臨床解剖実習）」では、臨床医学の献体利用の意義を具体的に理解し説明できること、臨床医学の教育・研究目的に使用のご遺体の各種保存法、感染防御、CST実習の運営と指導法の実際について体験し、説明できることを到達目標としている。

■ 授業計画

医学研究院の臨床系各教室で実施している献体を使用した手術手技研修や医療機器研究に参加する。

医師免許・歯科医師免許を有する学生は、遺体に対して直接処置を加えること（臨床解剖）が可能であるが、それ以外の学生はCST見学または研究補助となる。

例年、CSTは冬季に20回程度実施しているが、2022年度の実実施スケジュールは未定である。

医学院以外の研究科からの受講に際しては、担当教官が実習または研究への参加（見学）をアレンジする。

単位取得のためのコマ数は16コマであり、終日の実習参加は4コマとし、半日参加は2コマとする。

■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

予習：CSTの実施に際して、臨床系各教室よりテキストが事前に用意される場合には事前学習を行うこと。

復習：レポート提出を求められた場合には期日までに提出すること。

■ 成績評価の基準と方法

CST実習の態度、実習中のディスカッションや実習後のデブリーフィングでの発言内容、提出したレポートの内容により成績を評価する。成績は絶対評価とする。

■ 有する実務経験と授業への活用

■ 他学部履修の条件

医師免許・歯科医師免許を持つ履修者はCSTの受講や医療機器開発の実施（臨床解剖）が可能であるが、それ以外の履修者はCST見学や研究補助により単位取得となる。

履修を想定している主な研究科は、医学院、歯学院、情報科学院、医理工学院、生命科学院、保健科学院、工学院、理学院等であるが、学年、専攻に制限はない。ただし、医学院、歯学院以外で履修を希望するものは担当教員の内諾を必要とする。

■ テキスト・教科書

■ 講義指定図書

■ 参照ホームページ

<https://www.jssc.or.jp/journal/guideline/info20120620.html>

<https://CAST.med.hokudai.ac.jp/>

■ 研究室のホームページ

<https://CAST.med.hokudai.ac.jp/>

■ ■ 備考

本プログラム「外科系臨床医学研究の新展開」は『令和元年度～3年度 文部科学省 課題解決型高度人材養成プログラム（外科解剖・手術領域）「臨床医学の献体利用を推進する専門人材養成」』の事業により開講したもので、北海道大学、千葉大学、京都大学が共同で実施する。

プログラムの修了要件は本講義を含む必修科目4単位、CST実習1単位、合計5単位の履修である。本実習のみの受講は1単位の取得となるが、プログラムの修了証は授与されない。

■ ■ 更新日時

2022/01/17 15:34:47